

2010年度第2期 事業報告書

I. 事業の状況

2010年度 第2期の事業は以下のとおり実施した。

1. 野球競技の普及振興及び調査研究

野球競技の普及振興を図るため、次の措置を講じた。

- (1) 野球競技の普及振興を図るため、全日本アマチュア野球連盟の行う事業への支援並びに(財)日本学生野球協会及び各少年野球団体等との連携及び協力関係の強化促進。
- (2) 野球競技者の体位向上並びに栄養学、予防医学に関する調査研究及びその成果の活用。
- (3) 各地域における野球競技の普及振興を図るため、各加盟団体の行う研修事業等に対する助成の充実。
- (4) 連盟内に委員会を設置し、理事会に対し答申をした。
- (5) ティー・ボール普及事業の実施。
- (6) アマ・プロ交流のあり方についての調査、検討及びその成果の活用。
- (7) (財)世界少年野球推進財団とともに、第20回世界少年野球大会・東京大会(7月29日から8月6日、東京都・世田谷区で開催)を開催した。

2. 野球競技に関する講習会の開催並びに指導者、審判員及び記録員等の養成

(1) 記録員講習会

8月27日から12日間、東京ドームに於いて開催された第81回都市対抗野球大会において、記録員講習の実施研修として各地区連盟から11名が参加し、公式記録を担当した。

(2) 第27回新人研修会

10月8日から4日間、J R東日本野球部柏野球場<千葉県>で行われ、各地区連盟からの推薦に基づき競技力向上委員会で選考した30名の選手が参加した。競技力向上委員会委員が指導を担当した。なお、アジア競技大会派遣日本代表チームとの合同練習とし、練習試合3試合を行った。

(3) 第35回指導者研修会&コンディショニングスタッフ研修会

1月8日から2日間、熱海後楽園ホテル<静岡県>で行われ、加盟チーム監督、トレーナー等92名が参加した。

(4) 第53回審判講習会

2月18日から3日間、J R東日本野球部柏野球場<千葉県>に於いて、各地区の審判員64名が参加して行われた。なお、アジア地域の野球振興の一環として、アジア野球連盟と協力し、6カ国(タイ、インドネシア、フィリピン、スリランカ、パキスタン、中国)から、7名の審判員を受け入れた。

(5) 各地域審判講習会に対する指導員派遣事業

2010年度は、14件（北海道、東北、北信越、四国、九州、秋田、山形、新潟、茨城、千葉、宮崎（2）、リトルシニア委員会、八千代市野球協会）の申請があり、それぞれ委員を派遣した。

(6) 野球競技普及振興事業に対する支援

2009年度まで全日本アマチュア野球連盟に計上されていた全日本野球会議普及振興委員会事業を2010年度より、日本野球連盟が引き継ぎ、各加盟団体等が実施している事業に対し、支援を行った。48件の事業を対象とした。

3. 野球競技に関する全国規模の各種国内大会の開催

(1) 第81回都市対抗野球大会

8月27日から12日間、東京ドーム〈東京都〉で開催された本大会では、神奈川県代表の「川崎市・東芝」（2年連続32回目の出場）が3年ぶり7度目の優勝を飾り、黒獅子旗を獲得した。

(2) 第35回全日本クラブ野球選手権大会

9月14日から4日間、西武ドーム〈埼玉県〉で開催された本大会では、南関東地区代表の「所沢グリーンベースボール」（初出場）が初優勝を飾った。

(3) 第4回クラブカップ大会

2年ぶりに開催したクラブカップ大会は、全国を3ブロックに分けて以下のとおり行われた。出場は、全日本クラブ選手権大会予選において次点となったチームとし、それぞれ8チームにより大会を行った。

① 第4回東日本クラブカップ大会

10月16日から2日間、あづま野球場・信夫ヶ丘球場〈福島県〉で開催。オール高崎野球クラブ〈関東地区〉が優勝した。

② 第4回中日本クラブカップ大会

10月16日から2日間、浜松球場〈静岡県〉で開催。NAGOYA23〈東海地区〉が優勝した。

③ 第4回西日本クラブカップ大会

10月16日から2日間、北九州市民球場・北九州市立大谷球場〈福岡県〉で開催。ビッグ開発ベースボールクラブ〈九州地区〉が優勝した。

(4) 第37回社会人野球日本選手権大会

1回戦（分割開催）を10月30日から3日間（全国4会場）、2回戦以降を11月9日から5日間、京セラドーム大阪で開催された本大会は、東海地区代表の「トヨタ自動車」（8年連続11回目の出場）が2年ぶり3回目の優勝を飾り、ダイヤモンド旗を獲得した。

(5) 2010年度 第2期各JABA公式大会

2010年度各JABA公式大会の結果(主要大会のみ)

(6) 2010年度 社会人野球表彰事業

① 表彰選考委員会において、以下のとおり選考し決定した。

(ベストナイン)

位 置	氏 名	年令	所 属	回数
投 手	濱 野 雅 慎	26	J R 九 州	初
捕 手	中 野 滋 樹	30	J R 九 州	初
一塁手	的 場 寛 一	33	ト ヨ タ 自 動 車	初
二塁手	佐 藤 二 朗	30	ヤ マ ハ	初
三塁手	坂 田 篤 彦	27	ト ヨ タ 自 動 車	初
遊撃手	田中マルシオ敬三	30	J R 九 州	初
外野手	北 道 貢	29	N T T 東 日 本	初
	藤 島 琢 哉	27	J R 九 州	初
	松 永 隆 太	24	東 芝	初
指名打者	池 辺 啓 二	28	J X - E N E O S	2

(個人賞)

賞	氏 名	年令	所 属	回数
首位打者賞	落 合 成 紀	28	J F E 東 日 本	初
最多打点賞	北 道 貢	29	N T T 東 日 本	初
最多本塁打賞	該当者なし			
最多勝利投手賞	濱 野 雅 慎	26	J R 九 州	初
最優秀防御率賞	藤 田 卓 史	28	東 芝	初

② 表彰式

期日：12月16日(木)

場所：KKRホテル東京(東京都)

4. 野球競技に関する各種国際大会、国際親善試合の開催に対する代表参加者の派遣

(1) 国際大会等に参加する日本代表チームへの代表参加者の派遣

① 第4回IBAF女子ワールドカップ

日本女子野球協会所属のアマ選手20名を派遣した。

決勝戦でオーストラリアを13対3で下し、第3回大会に続き優勝を果たした。

日 程：8月12日(木)～8月21日(土)

開催地：ベネズエラ・ボリバル共和国

成 績：1位日本、2位オーストラリア、3位アメリカ、4位ベネズエラ、5位カナダ、
6位キューバ、7位韓国、8位オランダ、9位台湾、10位プエルトリコ

- ② 第6回BFA AAアジア野球選手権
KB野球連盟所属選手18名を派遣した。決勝戦で台湾に惜敗し、準優勝となった。
日程：8月21日(土)～8月26日(木)
開催地：タイ
成績：1位台湾、2位日本、3位韓国、4位香港、5位中国、6位タイ、
7位インドネシア、8位スリランカ
- ③ 第16回アジア競技大会
社会人23名、大学生1名のオールアマ選手で臨んだ。
準決勝ではトッププロを派遣した台湾に延長タイブレークで惜敗したが、3位決定戦で中国を破り、銅メダルを獲得した。
日程：11月13日(土)～11月19日(金)
開催地：中国・広州
成績：1位韓国、2位台湾、3位日本、4位中国
他：パキスタン、タイ、香港、モンゴル

5. 野球競技者の競技力向上の推進

(1) 日本代表チーム強化練習への候補選手及び選手等の派遣

- ① 第1回強化合宿(アジア競技大会選考)
7月16日(金)～7月19日(月) <埼玉県川越市>
- ② 第2回強化合宿(アジア競技大会代表)
10月8日(金)～10月11日(日) <千葉県柏市>
- ③ 第3回強化合宿(アジア競技大会直前)
11月2日(火)～11月9日(火) <長崎県長崎市、宮崎県宮崎市>

(2) プロ・社会人交流試合の実施

6. 野球競技に関する競技規則の制定

日本アマチュア野球規則委員会に委員を派遣し、競技規則の整備と制定に参画した。

7. 野球競技の競技施設並びに用器具等の指導及び公認

(1) 各地区における野球競技施設の指導及び公認

(2) 使用球及び金属製バットの公認

- ① 使用球の公認=イソノ、ミズノ、久保田、松勘工業、スミヤ、那須スポーツ、
ゼット、エスエスケイ、アシックス、一光スポーツ、ハイゴールド、
サンアップ
以上12社
- ② 金属製バットの公認=“新安全基準”に適合するバット
(Nマーク記号のあるもの)のみの使用に限定。

(3) 用器具等の指導及び公認

(財)製品安全協会に委員を派遣し、意見具申。

(4) 「NPO法人アオダモ資源育成の会」への参画

「アオダモ資源育成の会」に委員を派遣。

8. 財団法人日本体育協会及び全日本アマチュア野球連盟に対する加盟並びにそれらの事業への協力

(1) (財)日本体育協会への協力

- ① (財)日本体育協会に役員等を派遣し、意見具申。
- ② 全国スポーツ指導者連絡会議に委員を派遣し、意見具申。

(2) 全日本アマチュア野球連盟の事業に対し、次の措置を講じた。

- ① 全日本アマチュア野球連盟の事業に対する分担金を拠出した。
- ② 全日本アマチュア野球連盟が行った4の(1)及び5の(1)の事業に対し、競技者及び役員等の派遣。

9. 全日本アマチュア野球連盟を通じた国際野球連盟、アジア野球連盟、全日本野球会議及び財団法人日本オリンピック委員会の事業に関する協力

(1) 国際野球連盟 (IBAF) 及びアジア野球連盟 (BFA) への参画

- ① IBAF執行委員会 2010年2月20日(土) <イタリア・ローマ>
出席：田和全アマ専務理事
- ② BFA執行委員会 2010年2月26日(金) <韓国・ソウル>
出席：鈴木全アマ副会長、田和全アマ専務理事
- ③ IBAF執行委員会 2010年6月27日(日) <プエルトリコ・サンファン>
出席：田和全アマ専務理事
- ④ IBAF執行委員会 2010年11月1日(月) <台湾・台中市>
出席：田和全アマ専務理事
- ⑤ IBAF執行委員会 2011年1月29日(土) <キューバ・ハバナ>
出席：田和全アマ専務理事
- ⑥ BFA執行役員会 2011年2月23日(水) <韓国・ソウル>
出席予定：鈴木全アマ副会長、田和全アマ専務理事

(2) 全日本野球会議への参画

① 各委員会主催事業への参画

・技術指導委員会

野球指導者講習会(1月21日から3日間<千葉県>)の開催や指導者の派遣等に関わる委員等の派遣。

・審判技術委員会

プロ・アマ審判代表者で構成され、審判技術の研究並びにアンパイアスクール(12月4日から2日間<埼玉>)の実施に関わる委員を派遣。

・国際委員会

国際的な諸問題にプロ・アマ協力して取り組んでいくために設けられた委員会。プロ・アマ双方から委員を派遣。

10. 野球競技に関する刊行物の発行

- (1) 「財団法人 日本野球連盟 連盟報」(2010年版)の発行
- (2) 2010年版「公認 野球規則」の発行
- (3) 「JABAニュース」の発行
- (4) 社会人野球ガイドブック「グランドスラム」(小学館刊行)に対する制作協力

11. 諸外国における野球競技の普及振興に関する協力援助

アジア野球連盟加盟国等に対する援助

- (1) 用具の提供：アジア野球連盟加盟諸国に対する用具提供を行った。
- (2) コーチの派遣：タイナショナルチームにコーチを派遣した。

12. その他目的を達成するために必要な事業

- (1) 弊連盟概要に関する情報公開並びに広報活動の充実化を目的として、公式ホームページを開設、運営。
- (2) 野球競技の普及振興等協議のため、地区連盟会長等との懇談会(8月29日)開催。
- (3) (財)野球体育博物館に役員、評議員を派遣し、意見具申。
- (4) (財)スポーツ安全協会に評議員を派遣し、意見具申。

◇ その他

- (1) 2010年度加盟団体及び加盟チームの推移
- (2) 2010年度加盟団体加盟チーム数及び登録者数
- (3) 2010年度一般賛助(JABAクラブ)会員数
- (4) 2010年度 第2期諸会議開催状況

① 評議員会

第1回臨時評議員会(文書)	4月20日	
第1回定時評議員会(文書)	5月20日	
第2回臨時評議員会(文書)	10月13日	
第2回定時評議員会	2月16日	インターコンチネンタル東京ベイ

② 理事会

第1回定時理事会(文書)	4月28日	
第1回臨時理事会	8月27日	東京ドームホテル
第2回臨時理事会	12月16日	KKRホテル東京
第2回定時理事会	2月16日	インターコンチネンタル東京ベイ

③ 常任理事会

第1回常任理事会	4月20日	連盟会議室
第2回常任理事会	8月9日	連盟会議室
第3回常任理事会	11月8日	ホテル日航大阪
第4回常任理事会	2月9日	連盟会議室

④ 各委員会

事業委員会	4月20日	連盟会議室
事業企画部会	9月18日	連盟会議室
	11月19日	連盟会議室
	1月15日	連盟会議室
地域活性化委員会	5月20日	連盟会議室
	8月28日	東京ドームホテル
	1月14日	連盟会議室
競技力向上委員会	9月4日	東京ドームホテル
	11月23日	連盟会議室
	11月23日	連盟会議室
	1月8日	熱海後楽園ホテル
規則・審判委員会	5月11日	連盟会議室
	10月13日	連盟会議室
	1月27日	連盟会議室
	1月10日	連盟会議室
規則・審判地域部会	11月19日	京セラドーム大阪
公式記録部会	4月27日	連盟会議室
	11月9日	京セラドーム大阪
⑤ 各地区連盟会長会議	8月29日	東京ドーム
⑥ 各地区連盟事務担当者会議	2月17日	インターコンチネンタル東京ベイ

(6) 2010年度 第2期慶弔及び事務局人事

◇ 表彰

・第60回日本スポーツ賞（読売新聞社）において、第81回都市対抗野球大会で7度目の優勝を飾った「川崎市・東芝」チームに2010年度競技団体別最優秀賞が贈られた。

◇ 逝去

2010年 7月 8日 関 美喜男（参与）
 2010年 8月25日 山川 修司（参与）
 2011年 1月 7日 建内 保興（参与）

◇ 事務局人事

2010年 3月 1日発令 事業課主任 篠原 正道
 （パナソニックから出向）
 2010年 3月31日退任 事業課長 鈴木 健一
 （JX日鉱日石エネルギーに復職）
 2010年 3月31日退職 事業課主任 藤本 溪

以上